委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、3月22日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。詳しくは5月末に発行予定の会議録をご覧ください。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

適正な財政運営と業務に支障の出ない管理体制を

【22年度補正予算】

諸支出金では、委員から、地方公共団体金融機構について質疑が出され、執行部から、自治体等への融資を行っており、戸田競艇組合の売り上げに応じて金額を納付しているとの説明がありました。

【23年度予算】

一般管理費の市制45周年記念事業では、委員から、式典の実施について質疑が出され、執行部から、記念式典等は実施しないが、NHKの番組の招致を予定しているとの説明がありました。

また、文書管理費では、文書管理システムの処理速度について、委員から、多少費用がかかっても、業務に影響が出ない管理体制にしてほしいとの意見がありました。

賦課徴収費では、委員から、不況で納付困難となった人の生活に配慮してほしいとの意見がありました。また、他の委員から、納税促進事業について、公用車や市内放送での周知等、さまざまな方法を検討してほしいとの意見がありました。

防災費では、総合防災訓練について質疑を交わし、執行部から、市民が携わる訓練が一番という認識のもと、自分たちで行う訓練を続けていきたいとの説明がありました。

歳入では、繰越金の計上について、委員から、ある程度戸田市の実績に即した繰越金を計上してほしいとの意見がありました。

◀防災訓練でのバケツリレーの様子

文教・建設

都市整備部
教育委員会

快適に散策できるプロムナード（散歩道）の整備を

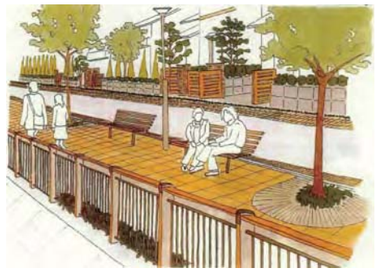
【23年度予算】

土地区画整理費では、笹目川左岸プロムナード景観歩道について、散歩道として、何度歩いても気持ちがよいと感じる環境づくりに力を入れ、近隣の方々に大いに利用されるものをつくってもらいたいという意見があり、執行部からは、期待にそえるよう努力したいとの答弁がありました。

河川総務費では、上戸田川の浄化について、今からできることを実行して、「水」を活かしたまちづくりに向けて前進してもらいたいという意見や、暫定調整池のビオトープでイケチョウ貝を使った水質浄化の実証実験を行ってはどうかという意見があり、執行部からは研究していきたいとの答弁がありました。

教育指導費では、中学校の部活動について、様々な課題により新しい部活が設置されていないように感じるが、生徒たちが様々な部活にかかわれるよう方策を打ち出してほしいという要望があり、執行部からは、積極的に中学校に働きかけていきたいとの答弁がありました。

社会教育総務費では、大学と連携して実施するサテライト大学の試行講義において、特定の世代に偏ることなく、全世代を通じてかかわりがもてるように研究をしてもらいたいという意見がありました。



▲笹目川左岸プロムナード景観歩道のイメージ図

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
医療保健センター

子ども手当・児童手当の取り扱いは迅速に

【23年度予算】

児童福祉運営費では、現在、国で審議中である子ども手当・児童手当法案が不成立となると、新たなデータ入力、システム改修、所得証明を取る作業が必要となり、6月に支給することは難しいとの説明を受け、市に対し、法案不成立に備え、想定される一連の作業を見越した検討を始めるとともに、補正が必要となった際には、速やかに臨時会で手続きを行うよう要請しました。

生活保護総務費では、ケースワーカー1人が受け持つケース数が基準を超えていることから、きめ細かな自立支援を行うためにケースワーカーの増員と、担当だけでなく、他部署との連携による自立支援を行うなど、保護費削減に目を向けるよう要望しました。

▲元気に遊ぶ子どもたち

【国民健康保険特別会計予算】

討論に当たり、本予算案は昨年12月議会で可決された国民健康保険税条例の改正により、低所得者が負担増となる予算立てとなっていることから反対するとの意見と、複雑かつ重複感のあった税方式の改善は、本特別会計の正常化に寄与するもので、効果は大きいと理解しており、引き続き改善に努力することを要望し、賛成するとの意見があり、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決しました。

市民生活

市民生活部
消防本部
水道部

事業者向け温暖化対策補助金の対象拡大を

【22年度補正予算】

事業者向け温暖化対策支援補助金について、平成23年2月現在、1件3万3千円の支出のみであったことから、残り746万7千円を減額することについて、もう少し利用されるように方策を考えてもらいたい。また、補助の幅を広げて、事業者にとってメリットに直結するような内容になるよう検討してもらいたいとの要望が出されました。

【23年度予算】

住民票交付等、証明書関係について、いつでも、どこでも、とれるということで、コンビニ交付が今後、中心になっていくと考えている。自動交付機の利用率は本年1月分で、約4分の1を占めているが、自動交付機にかかる費用が高いことから、5年をかけてコンビニ交付にシフトしていきたいとの説明がありました。

防犯対策費の町会防犯灯補助金について、私有地に設置することになるので、撤去を求められる場合がある。撤去費用についての補助はどうするのかとの質疑に対し、設置に対する補助を先行実施し、将来的には撤去についても検討していく必要があるとの答弁がありました。

消防職員は23年度、条例定数139人を充足することになるが、消防力基準の229人からすれば開きがある。市民の安全確保の面から、現在の条例定数が適切なのかどうか再検討してもらいたいとの意見がありました。

▲コンビニで証明書が取得できます。